

市電に乗って出かけよう！



いつも見慣れた中央区の街並み。でも、目先を変えて、市電の車窓から眺めてみると、何か違った発見ができるかもしれません。

市電に乗って、マップ片手に沿線を歩き、地域の歴史や自然に触れてみませんか？



市電と沿線のまちづくり

札幌市では路面電車の存廃について検討を行った結果、平成十七年二月に存続させることを決定しました。今後の検討課題としては、路面電車を活用した沿線地域の新たなまちづくりなどが挙げられています。



市電の会とは？

中央区では、平成十八年度の「区の個性あふれる提案事業」の中で、「市電と沿線の魅力掘り起こし事業」として、市電に関するエピソードや沿線の歴史、文化、自然、見どころなどの魅力を掘り起こして発信する「市電沿線ぶらりまちあるきマップ」を作製することにしました。これにより、多くの方々が市電を利用して、沿線を訪れるきっかけづくりになることを目指しています。

このマップの企画・編集は、「市電の会」が行い、中央区が発行しました。

「市電の会」は、中央区内の連合町内会や老人クラブ、商店街振興組合、個人の方などで組織された団体です。

平成二十年十二月に設立され、現在の賛助会員は約二百人、団体会員は三団体となっています。設立以来、市電が市民により一層親しまれ、愛されるように、さまざまな活動を行っており、年一回発行する会報「市電のふるさと」では、会の活動や路面電車に関する情報などを掲載しています。

※市電の会賛助会員募集

市電の好きな方なら中央区民に限らず、個人や団体などどなたでも入会できます。
▽申込・詳細 地域振興課



市電沿線ぶらりまちあるきマップ

マップは、持ち歩きしやすいコンパクトサイズで、市電沿線の歴史探訪や季節ごとのまちの魅力に触れられるよう、第一号〜第七号までの分冊形式としました。

これから順次発行しますので、お楽しみに！

平成十九年度はマップを活用したイベントの開催を予定しています。



▲市電沿線ぶらりまちあるきマップ

第1号・第2号は
5月28日（月）
から配布中

問い合わせ先

中央区地域振興課

まちづくり調整担当

☎(231) 2400

企画編集会議で検討



市電の会の賛助会員のほか、中央区内のさまざまなまちづくり団体に属している市民ボランティアで構成する編集委員でマップ作りを行いました。

完成までに行った7回の企画編集会議では、収集した情報の整理やまち歩きコースの設定のほか、マップの表現方法やデザインについて検討を行いました。

「市電の沿線の魅力」情報収集

広く市民から市電沿線のエピソードなどの情報を集めるため、中央区内の各施設に情報募集のチラシを設置しました。

その結果、手紙、電話、ファクスやインターネットでの書き込みなどたくさんの情報が寄せられました。

また、市電フェスティバルでは、大きな地図上に、参加者からお気に入りの情報を記入してもらいました。



▲「市電フェスティバル」

「市電沿線ぶらりまちあるきマップ」ができるまで